

立命館中学校・高等学校

校長 東谷 保裕

2024年度 立命館中学校・高等学校 公開授業研究会
ご案内（第2次）

謹啓

新緑の候、貴校におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来る2024年6月21日（金）・22日（土）に本校におきまして、「2024年度 立命館中学校・高等学校 公開授業研究会」を開催いたしますので、ご案内（第2次案内）を同封させて頂きました。

2015年度に全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会（附属校サミット）の会場校として、全国から多くの先生方をお迎えして教育研究会を開催いたしました。その経験をもとに2016年度からは公開授業研究会を開催し、本校の研究授業を地域や他私学の先生方にご覧いただき、合評会等で忌憚なきご意見を頂戴してまいりました。2025年度の附属校サミットは再び本校を会場校として開催する予定となっておりますので、今回の研究会と合わせてご予約いただくと幸いです。

今回の基調講演には、京都教育大学 准教授の神代 健彦氏をお迎えして、『学校は〈意味〉の探究共同体―「能力でっかち」を超えて―』という演題でご講演いただきます。各校での今後の授業づくりに向けた研究研修にも役立つ内容と考えております。

校務ご多忙の折とは存じますが、貴校の先生方にご案内いただき、お誘い合わせの上、ご来校賜りたく、ご案内申し上げます。

謹白

2024 年度 立命館中学校・高等学校 公開授業研究会 実施要項
(立命館附属校理科公開授業研究会を兼ねる)

記

名 称 : 2024 年度 立命館中学校・高等学校 公開授業研究会

主 催 : 立命館中学校・高等学校

日 時 : 2024 年 6 月 21 日 (金) 9:15~15:45 公開授業・合評会・基調講演
2024 年 6 月 22 日 (土) 8:30~12:20 サタデーボックス自由見学
(一部の予定のみ参加でも構いません。)

会 場 : 立命館中学校・高等学校 <https://www.ritsumei.ac.jp/nkc/>
〒617-8577 京都府長岡京市調子一丁目 1-1 Tel: 075-323-7111 (代表)
※ アクセスについては、裏面を参照してください。

テーマ : 未来志向の学びと新しい教育への挑戦 ~生徒主体の課題解決型授業の研究~

対 象 : 小学校教員 中学校教員 高校教員 および 教育関係者

昼 食 : 6 月 21 日 (金) は、生協カフェテリア・購買が営業しておりますので、ご利用していただくことができます。(6 月 22 日 (土) は休業いたします。)

参加申込方法 : 以下の QR コードもしくは URL から参加申込フォームに必要事項をご記入の上、6 月 10 日 (月) までに送信してください。

以上

参加申込フォーム

<https://x.gd/b2tQ2>



<当日の予定>

6月21日(金) 公開授業の概要については別紙をご覧ください。

時刻	内容		
9:15～ 9:45	受付 (1階エントランス)		
9:45～10:15	全体会 1 (清和会記念ホール)		
10:30～11:15	公開授業 1		
	<教科・中高別・科目>	<授業担当者>	<クラス>
	① 国語科 (中学)	宍戸 寛昌	中学 3年 7組
	② 社会科 (高校・公共)	吉田 達朗	高校 1年 4組
	③ 数学科 (中学)	福岡 健司	中学 3年 8組
	④ 理科 (高校・物理)	辻本 遼二郎	高校 2年 7組
	⑤ 英語科 (中学)	布野 拓海/Thomas Reynolds	中学 2年 2組
	⑥ 芸術科 (高校・美術)	川嶋 頌梧	高校 1年 9/10組
	⑦ 技術家庭科 (高校・家庭基礎)	糸井 駿平	高校 2年 5組
⑧ 情報科 (高校・プログラミング)	小林 誠	高校 3年 高大連携科目選択者	
11:30～12:15	公開授業 2		
	<教科・中高別・科目>	<授業担当者>	<クラス>
	① 国語科 (高校・言語文化)	相井 美保	高校 1年 1組
	② 社会科 (高校・法学ゼミ)	高倉 寛人	高校 3年 高大連携科目選択者
	③ 数学科 (高校・数学A)	藤崎 充洋	高校 1年 9/10組
	④ 理科 (高校・生物演習)	柳谷 賢志	高校 3年 9組
	⑤ 英語科 (高校・コミュニケーションⅡ)	森田 祥子/Marife Carpio	高校 2年 9組
	⑥ 保健体育科 (中学・保健)	杉山 咲薫	中学 2年 2組
⑦ 課題研究科 (中学・総合探究Ⅱ)	笠巻 奈月/長野 博樹	中学 2年 5組	
12:15～13:15	昼食休憩 (生協カフェテリア・購買が営業しておりますので、ご利用いただけます。)		
13:15～14:15	各公開授業合評会 (国語・社会・数学・理科・芸術・保体・技家・英語・情報・課題研究)		
14:30～15:30	基調講演 (清和会記念ホール) 演題：『学校は〈意味〉の探究共同体ー「能力でっかち」を超えてー』 講師：京都教育大学 教育学科 准教授 神代 健彦氏		
15:30～15:45	全体会 2 (清和会記念ホール)		

6月22日(土) サタデーボックスの開設予定講座や概要については別紙をご覧ください。

時刻	内容
8:30～ 8:50	受付 (1階エントランス)
8:50～12:20	サタデーボックス (自由見学) …見学後各自解散

<基調講演>

演題：『学校は〈意味〉の探究共同体―「能力でっかち」を超えて―』

講師：京都教育大学 教育学科 准教授 神代 健彦氏

一橋大学大学院社会学研究科修了，博士(社会学)。

日本学術振興会特別研究員，一橋大学非常勤講師等を経て，2014年より現職。

専門は教育学・教育史，道德教育論。

最近の研究テーマは，戦後日本の教育学史，道德教育の理論と授業分析。

民間教育研究団体の教育科学研究会(教科研)で常任委員をつとめる。

著書

神代健彦・後藤篤・横井夏子『これからの教育学』(有斐閣、2023)

神代健彦『「生存競争」教育への反抗』(集英社、2020)

神代健彦編『民主主義の育てかた―現代の理論としての戦後教育学』(かもがわ出版、2021)

神代健彦・藤谷秀編『悩めるあなたの道德教育読本』(共著、はるか書房、2019)

ニコラス・ローズ『魂を統治する 一私的な自己の形成―』(共訳、以文社、2016)



神代先生より

いま教育界では、生徒(子ども)主体の学習への転換が図られている。教師の板書をただ書き写すだけの授業が変わるのは喜ばしい。ただ、そうした学びの転換が、抽象的な「能力」獲得の図式だけで理解され、実践されていくのは危うい。

人間は抽象的で無色透明な「能力」の束ではなく、意味や価値を生きる存在である。具体的なモノやコトに魅了され、それを他者ととともに探究していくなかで、知識やスキルとともに、自分にとってのそのモノやコトの意味、ひいてはこの世界そのものの価値を実感できるということが重要ではないか。

そして、そんな学びを成立させるためには、まずは教師がモノやコトの探究共同体のメンバーであり、生徒たちにとって頼りになる「学びの先輩」である必要がある。

そしてそうであるからこそ教師は、生徒たちの「学びの援助者」でありうる。

今回は、近年の教育学ほか隣接学問分野の動向を踏まえて、そうした「意味」を探求する共同体としての学校のイメージを参加者と一緒に考えたい。

<アクセス>



最寄り駅

阪急西山天王山駅より徒歩約8分(西国街道を北東に)

JR長岡京駅より徒歩約15分(西国街道を片泓交差点から南へ)

京阪淀駅よりバス約12分(調子バス停より、西国街道へ)

お問い合わせにつきましては、電話もしくはe-mailにてお願いいたします。

立命館中学校・高等学校(075-323-7111)

教頭 鳥島 裕之(tori0514@fkc.ritsumei.ac.jp)

総務・研修部長 内田 剛(t-uchida@fkc.ritsumei.ac.jp)

<公開授業概要> 6月21日(金)

公開授業1(10:30~11:15)

① 国語科 現代国語 中学3年 MSコース 担当者: 宍戸 寛昌

単元名:「わたし」を形づくる「あなた」 教材名:『誰かの代わりに』(鷲田清一・光村図書)

内容:「自分とは何か」「価値ある人生とは」中学3年生の胸を押しつぶすこれらの問いが、教材や友人との対話を通してほぐれていく姿を目指して単元を構想した。公開授業では、前時から続く哲学対話をグループで行い、話し合われたことを基に全体交流をする。そこから生まれた新たな問いをグループ読解で検証しつつ、次時へとつなげる授業スタイルを提案したい。

② 社会科 公共 高校1年 コアコース 担当者: 吉田 達朗

単元名: 公共的な空間における基本的原理「社会契約説」

内容: 第1章で「自分とは何か」、第2章で「人間と社会の在り方」で「功利主義」「義務論」を学んだうえで、今回は第3章「公共的空間における基本的原理」を学ぶ。「なぜ、国家が存在するのか?」「社会とは何か?」という問いに対する答えの一つである「社会契約説」を学習する導入として、無人島のサバイバル生活を想定することを通じていわゆる「自然状態」を体感するグループワークを行う。

③ 数学科 数学β 中学3年 MSコース 担当者: 福岡 健司

単元名: 場合の数と確率

内容: 確率についてさまざまな方法で考える。予測する、実際に何度か実験してその試行から推測する、話し合い計算するといった経験を通して多角的に確率の問題に向き合い、理解を深めることを目指す。

④ 理科 物理基礎 高校2年 SSコース 担当者: 辻本 遼二郎

単元名: 様々な力とそのはたらき 小単元名: 落体の運動

内容: 自律的、協働的に落体運動の性質を確かめる手法を話し合い、実行する。単元のはじまりから終わりまでをワンセットの実習とし、グループで継続的に取り組むことで協働的な姿勢を養う。また定量的な測定を通じて既存の理論(の定性的な部分)の発見を目指す。本時はその内の1時間である。

⑤ 英語科 英語 AP 中学2年 CLコース 担当者: 布野 拓海/Thomas Reynolds

内容: EAPの授業では、生徒に馴染みのあるトピックを選定し、テーマベースのシラバスを構成している。本単元では、ファッションの最新技術や諸課題についての学びを通して、環境に配慮した選択への意識を高めている。本時はEco Fashionをテーマに、Sustainable/Slow/Ethical Fashionを比較・検討し、根拠を持って意見を述べたり、他者の意見に賛同・補足したりするスキルを磨いていく。

⑥ 芸術科 美術 高校1年 MSコース 担当者：川嶋 頌梧

単元名:目のある「自我像」を描く 教材名:視て語り、聴/訊いて観る

内容:美術表現をする際に重要なことの一つは、自己の学習や経験がいかに関心の解釈を広げる力を持つかということである。本時では、「視覚障害者との美術作品鑑賞」の疑似体験を通して、『目のある「自我像」』における「目」の扱い方が、その造形や視覚的シンボルとしての役割を超える可能性があることを示す。

⑦ 技術家庭科 家庭基礎 高校2年 SSコース 担当者：糸井 駿平

単元名：食分野

内容：特にアウトプットを意識した授業づくりをしている。ICT ツールを活用しながら、個人でのアウトプット→グループや全体での共有→授業展開→自分に落とし込むという流れをつくっている。また、自分や地域などの生活における課題解決を意識した授業に取り組んでいる。授業内容は、調理実習が前後にあるため調理実習に絡めた授業を予定している。

⑧ 情報科 クリエイティブコーディング 高校3年 SSコース 担当者：小林 誠

本講座は高校2年時に理系選択科目「プログラミング基礎」で学んだ知識を活用し、自分のアイデアを形にすることを目指している。今年度は同時間帯の「美術Ⅲ」と協力し、教科横断カリキュラムの実践を行う。具体的には「美術Ⅲ」で作成する木工のイスにセンサーを組み込むことで何らかのIoTの機能を持たせたイス「ミライス」の開発を行う。

公開授業2 (11:30~12:15)

① 国語科 言語文化 高校1年 コアコース 担当者：相井 美保

単元名： 資料から読み解く「伊勢物語」 教材名： 「伊勢物語」

内容：高校1年生は高校古文の学習をはじめてまだ1ヶ月あまりしか経っておらず、慣れない古文の読解に苦手意識をもつ生徒も多い。今回の単元では「伊勢物語」、第二十三段「筒井筒」の読解を通し、当時の文化背景に触れることで、古文作品の世界観に興味・関心を持ってもらうことを目指す。

② 社会科 法学ゼミ 高校3年 SS/CEコース 担当者：高倉 寛人

内容:高大連携「法学ゼミ」は、立命館大学法学部への進学を検討している生徒を対象に、法学部での学びのリーダーとなりうる学生の育成を目指す科目である。今回の授業では、これまでの公民科などでの履修を活かしつつ、実際に法をどのように解釈し、使っていくかを学ぶ場として、模擬裁判を実施したい。

③ 数学科 数学A 高校1年 MSコース 担当者：藤崎 充洋

単元名：図形の性質（チェバの定理とメネラウスの定理）

内容：この2つの定理は三角形の性質の中でも重要な位置を占めている。2つの定理をその成り立ちも含めて理解するとともに、実際に用いることで図形と比に対する理解を深める。

④ 理科 生物演習 高校3年 MSコース 担当者：柳谷 賢志

タイトル：微小カプセル「リポソーム」をつくって、進化について考えてみよう。

内容：簡易的に液体中でリポソームを作成することを目的とする。時間があれば、つくったリポソームをもとに、どのようなリポソームがあれば医療などへの応用ができるか、自由に意見交換をしたい。また、現在の細胞との違いや、膜タンパク質の機能など、進化の分野の既習事項の復習につなげる展開にしていきたい。

⑤ 英語 コミュニケーションⅡ 高校2年 MSコース 担当者：森田 祥子/Marife Carpio

タイトル：Incorporating Critical Thinking into Writing: Analyzing Data and Making Suggestions

内容：本授業は、批判的視点でデータを捉え、分析結果や意見をライティング形式でアウトプットすることを目標として展開する。具体的には、提示されたデータを見て客観的な分析をすると同時に、そこから読み取れる問題点を推察させて、それに対する解決策を2つ考えさせる。今回は主に書き出す前のプロセスに重点を置き、グループで議論させていく。

⑥ 保健体育科 保健 中学2年 CLコース 担当者：杉山 咲薫

内容：生活習慣の健康への影響「5：飲酒と健康」

今学期、「生活習慣病・がんとその予防」について学んだ。それらを踏まえ、喫煙が与える「喫煙者への害」「周りの人への害」について学びを深める。また、喫煙のきっかけや対処について考え、ロイロノートを活用して対話的に探究させていく。

⑦ 課題研究科 総合探究Ⅱ 中学2年 CLコース 担当者：笠巻 奈月/長野 博樹

単元名：製品開発をしてみよう 一身の回りの不便から便利グッズをつくる

内容：自分たちの身の回りの不便を探るところから、製品のニーズやターゲットの満足を考えて、チームで製品企画を行う。その後、本校に設置されている3Dプリンターやレーザーカッターなどの工作機械を用いて、プロトタイプと本製作をしていく。今回の授業では、チームどうしで企画プレゼンを行い、プロトタイプ作成に向けて最後の調整と意思決定を行う。

<サタデーボックス概要> 6月22日(土)(以下の表の色のついている時限に開講します。)



土曜日活用の一環として、2022年度よりスタート。教員がやってみたい講座を開講し、生徒たちは学年やコースの壁を越え、テストや成績にとらわれず、自分の興味・関心のあることにチャレンジしています。



泥団子研究所



3Dプリンターで学ぼう



季節の和菓子を嗜む



建築に挑戦する実験室

○連続講座

講座名	担当者名	1限	2限	3限	4限
Creative Writing with English	Chris Mack				
ガンプラ素組部 mk3	宍戸 寛昌				
分析概論	折田 浩一				
和服のリメイク	鍵山 千尋 糸井 駿平 布野 拓海				
World Peace Game	Chris Mack				
アプリ開発への道 part1	小林 誠 西村 文志				
文学散歩	歌川 雄介				
Speak and Write English with Confidence	松尾 由紀 Ann Flanagan				
ポケモン×デザイン！ オリジナル3Dポケモンゲットだぜ！	布野 拓海				

○単発講座

講座名	担当者名	1限	2限	3限	4限
爆走ミニ四駆グランプリ！	福田 成徳				
愛しの苔リウム ～苔テラリウムをつくろう！～	森島 知子				
機織機を復活させよう	徳田 繭乃				
Sports Festival 【Futsal】	豊田 吉 大橋 燎平				
バドミントン部	阿形 雄大 大給 匠悟				
泥団子研究所	小林 誠				
TOEFL430点以上を目指そう！	白井 有紀				
トランプの宴(スピード大会編)	宮下 陽帆				
「ガザモノログ」朗読会	鍵山 千尋				

1限：8:50～9:35 2限：9:45～10:30 3限：10:40～11:25 4限：11:35～12:20